

教科名	地歴・公民	単位数	2 単位	担 当 者	小 野 辰 朗
科目名	地理探求	年次	2 年次		
使用教科書 副教材等	「高等学校 新詳地理探求」(帝国書院) 「新詳高等地図」(帝国書院) 「新編 地理資料 2024」(帝国書院) 「デジタル版 新詳地理探求ノート」(帝国書院) 「地理統計 P L U S」(帝国書院)				
1 学習の到達目標(育成すべき資質・能力)					
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
2 学習の評価(評価基準と評価方法)					
観 点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等		c. 主体的に学習に取り組む態度	
観 点 の 趣 旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の自然環境、資源と産業、生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	地理に関わる事象の意味、特色や相互の関連を、位置や分布、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。		地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。	
主 た る 評 価 方 法	定期考査 小テスト 単元テスト	定期考査 プリント等の提出 行動の観察		ノート・デジタル教材の提出 プリント等の提出 行動の観察	
占める割合に 評価全体に	50%	30%		20%	
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学 期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
	第2部 現代世界の地誌的 考察 第1章 現代世界の地域 区分 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国 2節 韓国 3節 ASEAN 諸国 4節 インド 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以 南アフリカ 7節 EU 諸国 8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 11節 オーストラリアとニュ ージーランド 第3部 現代世界における これからの日本の国土像の 研究	○ ◎ <				